

# インフルエンザ

「かぜ」とは、鼻・のど・気管などの呼吸器にさまざまな病原体が感染して起こる急性の病気の総称で、正確には「かぜ症候群」と言います。「急性鼻炎」「急性咽頭炎」「急性扁桃炎」「気管・気管支炎」などを含んでいます。病原体はさまざまでも、症状はだいたい似ています。くしゃみ、鼻水、のどの痛み、咳などの呼吸器の症状と、発熱や頭痛などの全身症状が出現します。

一方、「インフルエンザ」とはインフルエンザウイルスが原因で起こる病気で、軽く済む人がいるのも事実ですが突然の発熱や全身の倦怠感などの症状が特徴です。

	インフルエンザ	かぜ
発病	急激	比較的ゆっくり
症状の部位	強い倦怠感など全身的	喉や鼻など局所的
悪寒	強い	軽い
発熱	高い、しばしば 39 ~ 40℃	ないか、あっても 37℃台
からだの痛み	強い	なし
重病感	あり	なし
鼻・咽頭炎	全身症状に継続して起こる	先行して起こり、特徴的にみられる

● 加地正郎:臨牀と研究 79:2049, 2002 改変

これらは典型的な症状とされるものですが、インフルエンザウイルスに感染していてもこれらの症状がすべて現れるわけではありません。

一般に、重症化しない限りは、症状はだいたい約 1 週間でおさまりますが、高齢者などでは肺炎等の合併症を起こしやすいため注意が必要です。

## インフルエンザワクチンの接種

インフルエンザの流行や健康被害を抑える第一の方策は、インフルエンザワクチンの接種による予防です。予防接種を受けておくことで、発病や入院、死亡のリスクを下げるのが期待できます。当病院でも10月中旬より接種の受付を開始しますので、是非予約の方を宜しく願います。呉市在住で65歳以上の方は助成対象になっており、1,000円で接種できます。

